令和6年度岐阜県医療安全推進協議会 議事要旨

1 日 時

令和7年1月29日（水） 14時00分～15時00分

2 場 所

Zoomによるオンライン会議

3 出席委員

田中 吉政 会長、西垣 公順 委員、有川 幸孝 委員、岩崎 美幸 委員、
近藤 泰三 委員、竹中 昌子 委員、河野 美佐子 委員、市橋 優一 委員

他の出席者（オブザーバー）

岐阜市保健所 大矢 博之 係長

事務局

山田 徳秀 課長、山下 剛史 係長、原 由貴 主事、森本 勝男 医療安全相談員

4 議事要旨

（1）医療安全相談実績報告について

- ① 「令和5年度医療安全相談窓口における相談対応状況」及び「令和6年度上半期医療安全相談窓口における相談対応状況」について

【事務局】

資料に基づき説明。

- ② 医療安全相談事例集について

【事務局】

資料に基づき説明。

【委員】

歯科医院の事例については、歯科医師会に電話があった場合、まず事実関係を当該歯科医院に確認し、我々から指導することになると思う。今回話のあった事案は、不道德な事例だと感じた。

【委員】

県の事業として、相談者へもう少しフォローアップできるようなシステムにすることは難しいか。他都道府県での対応はどのようなものか。相談者の疑問にももう少し答えられるようなシステムというのは構築されていないのか。

【事務局】

各都道府県において対応は異なるが、昨年度の会議にて、行政と医師会等の連携につい

てご助言をいただいたので、相談内容に応じて三師会をご紹介し、対応いただいているというケースもある。

相談者が納得されれば終了するが、相談者が何等かの対応を望んできている場合は三師会や医療機関を所管している保健所と情報共有し、続いてどのような対応をするのか考える必要があるかと思う。

【委員】

三師会の観点からは、相談者へ正しい医療情報が伝わる仕組みを構築していきたいと考えている。三師会へ適宜共有いただき、患者・医療機関間の誤解に基づくことは意見調整できたらと思う。

【委員】

患者から相談を実際に受けている中で、患者・医療機関間で話が食い違うことはよくあると感じている。相談のあった医療機関が会員であれば、直接医療機関に話も聞けるので、三師会にも場合によっては相談を振っていただいても良いのではないかと。

【委員】

当会においても、相談専門にしている者が1名おり、相談や高額な薬代の説明がなかったと苦情が入ることがある。

相談があれば、医療機関か薬局へ確認し、相談者の了解を得たうえで返答をするよう、双方の意見の聞き取りや事実確認により解決できるよう努めている。当会にも県から相談をいただければ、県へ回答することも可能かと思うので、ご検討願いたい。

【事務局】

三師会へ相談を振ってしまうと、相談者に「たらい回しにされた」と捉えられる場合や、医療機関が非会員の場合もあり、なかなか難しいとも感じている。相談者には、言葉を選びつつ、また相談内容を考慮しながら、三師会の負担も生じてしまうかもしれないが、ご協力いただけたらと思う。

【委員】

相手方の気持ちをよく聞き、具体的な対応を希望される相談者には、今後、三師会に回していただいても良いかと思う。

また、県民のためにも他都道府県で行っているようなことがあれば別途教えていただきたい。

(2) 医療安全対策について

【事務局】

資料に基づき説明。

【委員】

全体の感想として、今回、看護師に関わる相談事例を聞いて心苦しく感じた。職場風土

として、患者へきちんと伝えていくなど、今後も協会でできることはやっていきたい。